



## 2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年11月5日

上場会社名 岩崎電気株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6924 URL <https://www.iwasaki.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 伊藤 義剛  
 問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部長 (氏名) 庄 慎司 TEL 03-5846-9010  
 四半期報告書提出予定日 2019年11月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有  
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第2四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年9月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	25,261	10.6	424	—	406	—	294	—
2019年3月期第2四半期	22,841	△6.7	△483	—	△411	—	△384	—

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 334百万円 (—%) 2019年3月期第2四半期 △297百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	38.16	—
2019年3月期第2四半期	△49.71	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第2四半期	63,740	26,904	42.2	3,496.56
2019年3月期	67,288	26,937	40.0	3,480.86

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 26,889百万円 2019年3月期 26,921百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	40.00	40.00
2020年3月期	—	0.00	—	—	—
2020年3月期（予想）	—	—	—	40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	57,000	5.5	1,800	23.5	1,800	5.1	1,200	7.2	155.16

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期2Q	7,821,950株	2019年3月期	7,821,950株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	131,571株	2019年3月期	87,802株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期2Q	7,726,223株	2019年3月期2Q	7,734,414株

(注) 株主資本において自己株式として計上されている信託に残存する自社の株式については、自己株式に含めて記載しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	8
(セグメント情報等) .....	8
3. 補足情報 .....	9
地域別売上高 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

第2四半期連結累計期間における世界経済は、米国では設備投資が伸び悩んだものの個人消費が好調を維持し、ユーロ圏でも個人消費が底堅く推移したことで、緩やかな景気回復基調となりました。中国においては、米国との貿易摩擦の長期化により生産や輸出が低迷し、景気の減速傾向が続きました。わが国経済は、個人消費や設備投資が緩やかな回復傾向にあるものの、生産や輸出に弱い動きがみられ、景気の足踏み感が残りました。なお、米中貿易摩擦の長期化に加え、輸出管理を巡る日韓の対立が発生するなど、世界経済全体として先行きの不透明感や景気の減速懸念が広がる状況となりました。

このような環境の中、当社グループは「光テクノロジーを通して豊かな社会と環境を創造する」という企業理念のもと、照明事業においては、施設照明・産業照明分野で、独自性のある商品提供と周辺事業を含めたトータルソリューションビジネスを推進し、光・環境事業においては、さまざまな「ひかり」の技術を応用することで環境試験関連事業、UV/EBキュア事業、殺菌関連事業の3つの事業を柱として展開してまいりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は25,261百万円（前年同期は22,841百万円で10.6%の増加）、営業利益は424百万円（前年同期は営業損失483百万円で907百万円の改善）、経常利益は406百万円（前年同期は経常損失411百万円で818百万円の改善）、親会社株主に帰属する四半期純利益は294百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失384百万円で679百万円の改善）となりました。

なお、当社グループの売上高、利益は期末に集中する季節的傾向があり、各四半期の売上高および利益は、通期実績の水準に比べ乖離が大きくなっています。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

## &lt;照明&gt;

照明事業は、LEDの特性を活かす制御関連技術を駆使した商品開発や、レーザー光源を用いた投光器の開発などに取り組み、独自性のある新商品のリリースを行いました。また、様々な景観への調和を可能とした省施工形の街路用照明器具は、ラインアップの増強を図りました。これら、新商品の市場訴求を積極的に行ったことなどにより、国内では、地方自治体などの照明改修事業を中心に、街路用照明器具、道路用照明器具の売上高は好調に推移しました。また、2020年の東京オリンピック・パラリンピックの開催に向けたインフラ整備や再開発事業の需要を背景に、景観、演出などの屋外用照明器具や高天井などの屋内用照明器具も、売上高は堅調に推移しました。一方、海外では、北米における事業の合理化策を推進したことにより、前年同期と比べ売上高は微増となり、利益面でも改善しました。

これらの結果、売上高は18,621百万円（前年同期は17,324百万円で7.5%の増加）、セグメント利益は1,271百万円（前年同期は541百万円で134.7%の増加）となりました。

## &lt;光・環境&gt;

光・環境事業は、UV/EBキュア事業はUV-LED照射器や小型電子線照射装置など新商品の拡販推進を行い、環境試験関連事業でも試験機器や自動車産業機器を対象とした展示会に出展し、新型のキセノンテスターや複合環境試験装置の市場訴求を図りました。UVキュア事業では、FPD関連や印刷機器関連が堅調に推移しましたが、環境試験関連事業および殺菌関連事業においては、前年同期並みの売上高となりました。また、情報機器事業では、道路情報板関連の件名納入があり、売上高は増加となりました。

これらの結果、売上高は6,677百万円（前年同期は5,544百万円で20.4%の増加）、セグメント利益は122百万円（前年同期はセグメント損失28百万円で151百万円の改善）となりました。

## (2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当決算短信に記載されている2020年3月期の業績予想ならびに将来予測に関する記載内容につきましては、いずれも当社および当社グループ会社の事業に関連する業界動向の見直しをはじめ、国内及び諸外国の経済状況、ならびに各種通貨間の為替レートの変動、その他業績に変動を与える要因について、現時点で入手可能な情報をもとにした見直しを前提としております。これらは、市況、競争状況、新商品・新サービスの導入およびその成否、ならびに照明関連産業市場、光・環境産業市場の世界的な状況を含む多くの不確実な要因の影響を受けます。従って、実際の売上高および利益などは、当決算短信に記載されている予想数値と大きく異なる場合がありますことをご承知おきください。

なお、現時点における通期の業績予想につきましては、2019年5月10日に公表しました業績予想から変更はございません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	14,774	12,923
受取手形及び売掛金	12,820	10,895
電子記録債権	2,107	1,713
商品及び製品	7,077	7,137
仕掛品	1,538	1,974
原材料及び貯蔵品	4,916	5,213
その他	653	677
貸倒引当金	△54	△55
流動資産合計	43,832	40,480
固定資産		
有形固定資産		
土地	9,619	9,619
その他(純額)	7,605	7,428
有形固定資産合計	17,224	17,048
無形固定資産	1,015	870
投資その他の資産	5,214	5,341
固定資産合計	23,455	23,260
資産合計	67,288	63,740
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,932	6,838
電子記録債務	3,687	3,053
短期借入金	980	957
1年内返済予定の長期借入金	1,300	1,300
未払法人税等	358	234
賞与引当金	732	742
クレーム処理引当金	169	135
その他	3,224	2,415
流動負債合計	18,384	15,676
固定負債		
長期借入金	5,300	5,150
退職給付に係る負債	13,018	12,951
資産除去債務	62	82
その他	3,584	2,976
固定負債合計	21,966	21,159
負債合計	40,350	36,835

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	8,640	8,640
資本剰余金	2,069	2,069
利益剰余金	13,955	13,937
自己株式	△140	△195
株主資本合計	24,524	24,452
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,581	1,658
土地再評価差額金	2,552	2,552
為替換算調整勘定	△291	△423
退職給付に係る調整累計額	△1,445	△1,349
その他の包括利益累計額合計	2,396	2,437
非支配株主持分	16	14
純資産合計	26,937	26,904
負債純資産合計	67,288	63,740

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	22,841	25,261
売上原価	15,859	17,538
売上総利益	6,982	7,722
販売費及び一般管理費	7,465	7,298
営業利益又は営業損失(△)	△483	424
営業外収益		
受取利息	1	2
受取配当金	51	49
為替差益	60	—
保険配当金	29	24
その他	33	25
営業外収益合計	175	102
営業外費用		
支払利息	60	51
持分法による投資損失	40	24
為替差損	—	17
事務所移転関連費用	—	24
その他	2	1
営業外費用合計	103	119
経常利益又は経常損失(△)	△411	406
特別利益		
固定資産売却益	15	2
投資有価証券売却益	—	9
特別利益合計	15	11
特別損失		
固定資産除売却損	6	1
その他	—	0
特別損失合計	6	1
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△402	416
法人税等	△18	122
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△383	293
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	0	△1
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△384	294

(四半期連結包括利益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△383	293
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	168	77
為替換算調整勘定	△142	△112
退職給付に係る調整額	100	95
持分法適用会社に対する持分相当額	△39	△19
その他の包括利益合計	86	40
四半期包括利益	△297	334
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△298	335
非支配株主に係る四半期包括利益	0	△1



(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△402	416
減価償却費	829	748
賞与引当金の増減額(△は減少)	31	10
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△0	△1
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△203	△67
受取利息及び受取配当金	△53	△51
支払利息	60	51
為替差損益(△は益)	△43	4
持分法による投資損益(△は益)	40	24
有形固定資産除売却損益(△は益)	△9	△0
売上債権の増減額(△は増加)	4,016	2,291
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,201	△857
仕入債務の増減額(△は減少)	△4,939	△1,713
その他	223	△1,354
小計	△1,652	△499
利息及び配当金の受取額	54	53
利息の支払額	△60	△59
法人税等の支払額	△353	△318
営業活動によるキャッシュ・フロー	△2,011	△823
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△452	△383
有形固定資産の売却による収入	30	2
無形固定資産の取得による支出	△57	△46
投資有価証券の取得による支出	△5	△5
投資有価証券の売却による収入	6	11
その他	0	2
投資活動によるキャッシュ・フロー	△477	△419
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	—	△20
長期借入れによる収入	500	—
長期借入金の返済による支出	△566	△150
社債の償還による支出	△250	—
自己株式の取得による支出	△0	△54
配当金の支払額	△312	△312
その他	△50	△48
財務活動によるキャッシュ・フロー	△680	△585
現金及び現金同等物に係る換算差額	8	△22
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△3,160	△1,850
現金及び現金同等物の期首残高	14,284	14,773
現金及び現金同等物の四半期末残高	11,123	12,922

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、原則として、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	照明	光・環境	計		
売上高					
外部顧客への売上高	17,313	5,528	22,841	—	22,841
セグメント間の内部売上高又は振替高	11	15	27	△27	—
計	17,324	5,544	22,868	△27	22,841
セグメント利益又は損失(△)	541	△28	512	△995	△483

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△995百万円は、報告セグメントに配分しない全社費用等であり  
ます。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	照明	光・環境	計		
売上高					
外部顧客への売上高	18,609	6,652	25,261	—	25,261
セグメント間の内部売上高又は振替高	12	25	37	△37	—
計	18,621	6,677	25,298	△37	25,261
セグメント利益	1,271	122	1,393	△969	424

(注) 1. セグメント利益の調整額△969百万円は、報告セグメントに配分しない全社費用等であり  
ます。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 3. 補足情報

## 地域別売上高

前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

(単位:百万円)

日本	北米	アジア	その他	計
19,760	1,851	1,100	128	22,841

当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

(単位:百万円)

日本	北米	アジア	その他	計
21,782	1,966	1,357	154	25,261

以上